

3. スウェーデン式サウンドディング柱状図一覧表

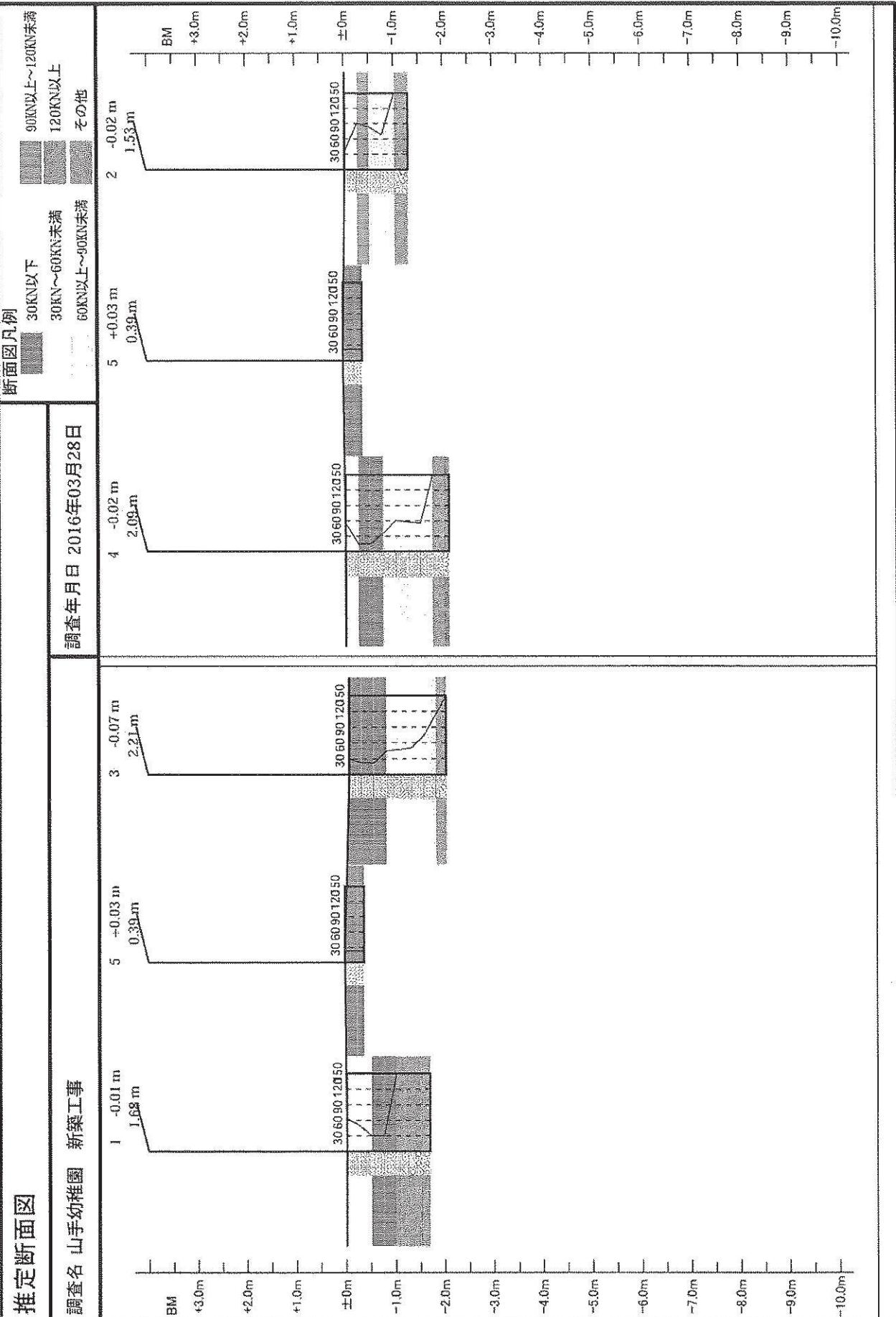
調査件名：山手幼稚園 新築工事

測点位置		6		測点位置		7		測点位置		測点位置		測点位置	
最終貫入深さ		1.20 m		最終貫入深さ		2.00 m		最終貫入深さ		最終貫入深さ		最終貫入深さ	
孔口標高		-0.05 m		孔口標高		-0.03 m		孔口標高		孔口標高		孔口標高	
締め付け間隔 m	栓抜 m												
-1	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-2	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-3	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-4	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-5	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-6	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-7	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-8	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-9	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-10	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-11	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-12	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-13	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-14	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-15	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-16	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25
-17	0.25	0.75	1.25	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	4.75	5.25	5.75	6.25

推定断面図

調査名 山手幼稚園 新築工事

調査年月日 2016年03月28日



7. 調査結果考察

地盤判定書

作成日： 2016年 3月 29日

●基本事項

物 件 番 号	
物 件 名	山手幼稚園 新築工事
物 件 住 所	兵庫県明石市大久保町大塙
建 築 会 社	オリエントハウス 株式会社
調 査 方 法	スウェーデン式サウンディング試験
調 査 実 施 日	2016/3/28
建 築 種 別 及 び 規 模	<input type="checkbox"/> 木造 <input checked="" type="checkbox"/> その他(プレハブ) / 1階

●基礎仕様の判定

①	推定許容応力度	判定深度(測点 5 を基準高さとし、深度 -0.25 m)
		<input checked="" type="checkbox"/> 20kN/m ² 未満 <input type="checkbox"/> 20~30kN/m ² 未満 <input type="checkbox"/> 30~50kN/m ² 未満 <input type="checkbox"/> 50kN/m ² 以上 <input type="checkbox"/> その他()
②	<input type="checkbox"/> 直接基礎	<input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input type="checkbox"/> 地盤補強後直接基礎	<input type="checkbox"/> 碎石置換 <input type="checkbox"/> 人工地盤材置換 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤補強工事	<input checked="" type="checkbox"/> 表層改良(浅層混合処理工法) <input checked="" type="checkbox"/> 柱状改良(深層混合処理工法) <input type="checkbox"/> 小口径钢管回転圧入工法 <input checked="" type="checkbox"/> その他(認定・評定工法など計画建物の長期的安全性を確保できる軟弱地盤対策工法)

●判定に際して考慮したポイント

① 地形・地質条件	台地(段丘面) 砂質土 磚質土
② 傾斜条件・敷地境界	周辺概ね平坦地
③ 敷地履歴・造成経年	古い造成敷地 幼稚園の庭部
④ 造成盛土・擁壁の状態	既設盛土厚不明 新規盛土予定不明
⑤ 周辺異常等の状況	既存建物土間コンクリートあり
⑥ その他	水位なし 測点5付近地中障害(コンクリート)あり

●考察

調査地は台地に位置する古い造成敷地(幼稚園の庭部)のようです。調査データより、深度1m付近から以深については回転層からなる地盤が確認されていますが、以浅については不規則に0.5~1.0kNの自沈層の介在が顕著に認められ、地盤強度のバランスを欠くやや不安定な地盤状況を呈しています。したがって、直接基礎では軟弱部の圧縮沈下による不同沈下が懸念されますので、表層改良工法、柱状改良工法などの地盤補強工事により建物の長期的安定性を確保する必要があると考察します。ただし、計画建物が仮設建物であり、撤去後に庭に戻す必要が生じる場合は、セメント系固化材を使用する地盤補強工事よりも転圧地盤等による対応が望ましいと考えます。転圧地盤としては基礎根切りを深く(深度0.75m)して、掘削底面を充分に転圧した後、基礎底まで入念な薄層転圧を行ってください(転圧による地耐力向上が見込みにくい土質の場合は碎石を使用してください)。

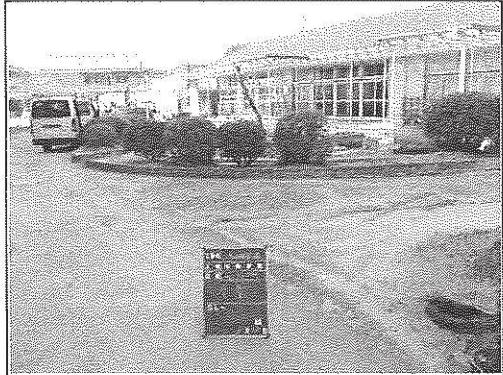
●考察判定者

東京解析センター	井上 理	資格番号	地盤品質判定士 第113-0185-1号
----------	------	------	----------------------

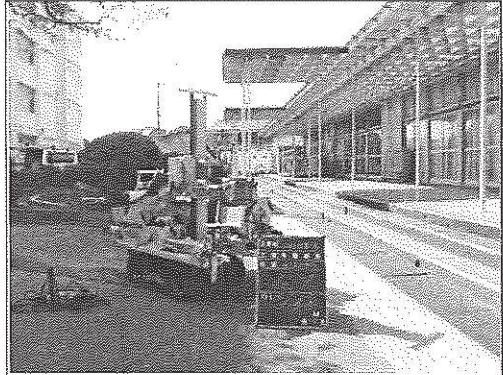
-◇-◆-◇- 本調査結果と考察を踏まえて適切な基礎計画を御検討下さい -◇-◆-◇-

8. 調査写真

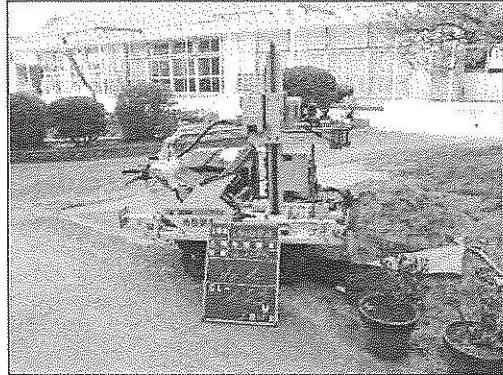
全景



測点1



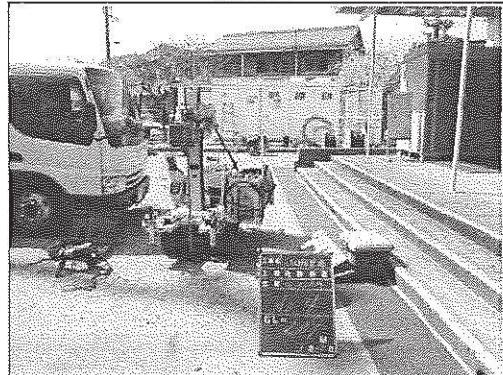
測点2



測点3



測点4

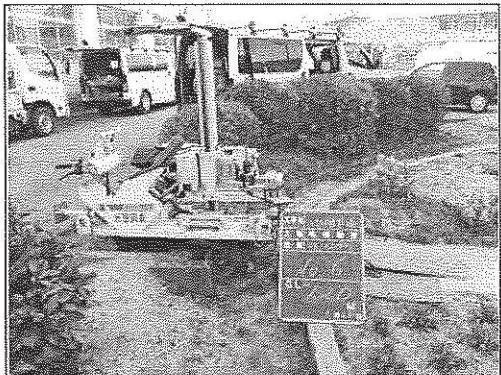


測点5



8. 調査写真

測点6



測点7



KBM



前面道路

